



## 生活クラブ風車



# 夢風News

Vol.1

●発行 2012.7.15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

### ■ はじめに ■

2012年3月、生活クラブの首都圏の4つの単協（生活クラブ東京、生活クラブ神奈川、生活クラブ千葉、生活クラブ埼玉）による共同事業として、秋田県にかほ市に建設をすすめてきた『生活クラブ風車（愛称：夢風）』が完成し、4月から首都圏の生活クラブの事業所へのグリーン電力の供給がスタートしました。自分たちで使う電気を自分たちで作るこの風車は、まさに素性確かな電気の共同購入といえるのではないのでしょうか。再生可能エネルギーをひろげ、脱原発、CO2削減、そして市民の共同でエネルギーを自治する未来の実現をめざします。

「生活クラブ風車夢風」のニュースレターを7月から毎月発行します。風車の稼動状況やイベントの報告、にかほ市の情報など、組合員の皆さんにお届けしていきたいと思えます。



### ■ 定時社員総会および第1回理事会報告 ■

- 『生活クラブ風車』事業の目的だけの法人として、一般社団法人グリーンファンド秋田を設立しています。事業目的法人（SPC）の設置は、目的とは違う事業の債務負担によるリスクを回避し、債権（出資・融資など）を保全するために、一般的に用いられるものです。
- 一般社団法人グリーンファンド秋田の定時社員総会を5月31日に開催し、2011年度の事業の報告を確認し、2012年度の事業計画及び予算を承認しました。また、理事及び監事の選任を行ないました。

2011年度は、「生活クラブ風車」の建設を11月に着工し、2012年3月20日に運転開始しました。導入風車はSUBARU80/2.0、定格出力1990kWです。2012年度の事業計画では、年間発電量\*472万kWhを見込みます。 <\*数字の誤りがありました。お詫びして訂正します。>

**【社員総会って?】** グリーンファンド秋田の社員は、以下の6法人です。生活クラブ東京、神奈川、埼玉、千葉、NPO法人北海道グリーンファンド、(株)市民風力発電。社員総会は、一般社団法人の最高議決機関で、生活クラブの総代会のような位置づけのものです。

- 社員総会後に第1回理事会を開催し、代表理事を選任しました。

○2012 年度グリーンファンド秋田の理事会メンバーは以下の方々です。

代表理事 半澤 彰浩 (生活クラブ神奈川)  
理事 赤坂 禎博 (生活クラブ東京)  
理事 重盛 智 (生活クラブ埼玉)  
理事 山本 裕一郎 (生活クラブ千葉)  
理事 鈴木 亨 (特定非営利活動法人北海道グリーンファンド)  
理事 加藤 秀生 (株式会社市民風力発電)  
監事 大石 高久 (生活クラブ神奈川)  
監事 滝本 しのぶ (株式会社市民風力発電)

○グリーンファンド秋田の機能拡充のための事務局設置を決定しました。事務局長として鈴木伸予を選任しました。

## ■ 生活クラブ風車の発電実績 ■

	発電量 (KWh)	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
3月	206, 112	9. 3	24. 0
4月	129, 551	5. 2	11. 5
5月	269, 955	4. 8	18. 1
6月	165, 489	3. 9	11. 5

○生活クラブ風車 (夢風) は、3月 20 日に系統連結し発電を開始しました。

○4月は、4月 4 日の未明に爆弾低気圧の通過に伴い電柱損壊事故が発生 (生活クラブ風車では最大瞬間風速 61m を観測) し、4月 9 日に復旧するまで、発電ができませんでした。その影響があり発電量が予測よりも低くなりました。

○5月は、発電量 268, 220KWh の実績となり、計画 241, 800KWh を上回る結果となっています。また、東北電力の要請による解列による風車の停止を 4 回行ないました。

○6月は、平均風速 3. 9m と風が弱く、発電量 165, 489kWh の実績となりました。計画 180, 700kWh を若干下回りましたが、順調に発電しています。

○東北の日本海側は、秋から春先にかけて風が強く、夏季はあまり風が吹かない気候です。生活クラブ風車の事業計画でも、夏季の発電量は低く計画化しています。



**【設備利用率って?】** 設備容量 (生活クラブ風車は 1990kW) に対する発電電力量 (kWh) の割合です。

たとえば、5月は、

$$\text{設備利用率 (18.1\%)} = \text{発電量 (269,955kWh)} \div (\text{設備容量 (1990kW)} \times 24 (\text{時間}) \times 31 (\text{日}))$$

**【解列って?】** 電力会社の電線への接続を解くことです。電力会社から電線などの工事のために解列を要請されると、風車をとめて発電を中止しなければなりません。

## ■ 風車建設・稼動記念イベントを開催しました！！ ■

### 5.11 生活クラブ風車竣工式と記念フォーラム in 秋田県にかほ市

風車建設記念式典と記念講演会、懇親交流会を、にかほ市で開催しました。竣工式には生活クラブ4単協の組合員をはじめ、生活クラブ親生会、にかほ市長や市議会議員の方々、施工会社の方々、風車愛称決定者、太鼓教室の子供たちなど総勢125名の参加があり、勢い良く回る風車のもとで盛大に行なわれました。



(竣工式：テープカットで稼動を祝う  
左から3番目の女の子が「夢風」の命名者)



(記念フォーラム：ISEPの山下さんの基調講演と、  
横山にかほ市長も参加してシンポジウムを開催)

### 6.30 生活クラブ風車建設・稼動記念イベント in 横浜（生活クラブ神奈川オルタ館）

風車の建設をおおぜいの組合員や関係者のみなさんで祝おうと、「脱原発・エネルギー自治・CO2削減～エネルギー自治社会にむけて～」というテーマで、横浜でイベントを開催しました。

当日は、首都圏からおおぜいの組合員、にかほ市のみなさんや北海道グリーンファンドなど合わせて約400人の参加があり、会場があふれんばかりの熱気に包まれました。

#### ●風車建設・稼動記念式典

秋田県にかほ市副市長の須田正彦氏から、にかほ市は昭和59年からウィンドヒル構想をもって風車に取り組んできており、その最初の担当が自分だったことなど当時のエピソードや、生活クラブとの連携への期待のメッセージを頂きました。



また、NPO 法人北海道グリーンファンド理事長の鈴木亨氏からは、風車を建てるのはおおぜいの人の力(思い)と感じると。3.11を経験し、日本のエネルギー政策の転換期に、生活クラブ風車が建ったことの意義は大きく、日本生協連からも注目されているすごいことだと思うという、私たち生活クラブへのエールをいただきました。

## ●脱原発・復興支援フォーラム



3.11 東日本大震災と東京電力(株)福島第一原発の事故によって、多くの方が犠牲になり被災しました。東京電力(株)福島第一原発の事故は人災です。その事故の対策も明らかになっていない段階で、政府は大飯原発の再稼働を実行しました。私たちは、エネルギー自治社会にむけて、現状をどのように認識し、被災地との連携をどのようにすすめるのかを考える場としてフォーラムを開催しました。

日本大学生物資源科学部教授の高橋巖氏(左写真)を講師に、「原発事故とその影響、今後の社会づくりに向けた提言」というテーマでの基調講演をおこないました。

基調講演を受けて、新保さん(生活クラブ千葉理事長)、倉形さん(生活クラブふくしま職員)、畠さん(福島のりんご生産農家)、齋島さん(一般社団法人共生地域創造財団事務局長)を迎えて、パネルディスカッションを開催。福島の組合員で、新地町で有機りんご農家を営む畠光子さん(右写真)から、「苦勞して除草剤をつかわない減農薬でりんごを育ててきたことが、全部台無しになって、原発さえなかったらと思います」という言葉に皆、胸がつまりました。



## ●にかほ物産展

にかほ市の職員の方、特産品の生産者の方が9名と、にかほ市の物産をた〜くさんもって、横浜に来て前日から準備をすすめました。明日、たくさんの組合員が来てくれるかしら?との心配も一転!当日は、11:00のイベント開始前から、物産展は、大盛況!!  
おおぜいの組合員の方との交流の場となりました。



## ●活動展示・企画



【展示・企画参加団体】

「環境まちづくり NPO エコメッセ」「東京ペレット」「にこまるプロジェクト」「NPO せっけんの街」「NPO 日本ファイバーリサイクル連帯協議会」「上関どうするネット」「(有) カワグチ企画」「NPO WE21 ジャパン」「NPO 川崎市民石けんプラント」「NPO 地球の木」「エナジーグリーン株式会社」「フォーラム・アソシエ」「オルタスクエア株式会社」「CELC」「生活クラブ神奈川環境政策委員会」「スペース・オルタ」